

(様式2)

令和 2 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570400752		
法人名	株式会社はあとふるあたご		
事業所名	はあとふるあたごグループホーム三条		
所在地	新潟県三条市石上2-15-1		
自己評価作成日	令和2年12月31日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=1570400752-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会
所在地	新潟市中央区上所2-2-2
訪問調査日	令和3年3月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

出来る限り家庭的な雰囲気を残しながら、毎日が穏やかに安心して過ごせるように配慮している。また、認知症発症前には自由にしていた、調理や外出、入浴なども、可能な限り支援している。グループホームの入居者にだけでなく、地域の認知症者やその家族等支援者に向け、認知症カフェや認知症お仕事ボランティア(在宅介護中の認知症の方がボランティアとしてグループホームで役割を持つ取り組み)等、積極的に地域に専門性を用いて貢献している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 地域に向けて開かれた事業所として
事業所は県内で多数の事業を展開する法人のグループホームの1事業所である。幹線から少し入った住宅街の一角に位置し、地域密着型の施設として地域の中で見守られ協力し合い生活できるよう努めている。認知症の理解、受け入れ、同じ生活者として認識されるよう、市の事業である認知症カフェ、地域住民のためのお茶の間を運営している。コロナ禍の中何とか継続して開催できるよう取り組み、地域の中で共に成長していこうと考える事業所である。
- 利用者の楽しみを増やし、生活にはりを持たせる取り組みについて
コロナ禍で外部との接点が限られている昨今、閉じこもりがちな利用者を楽しみを持たせる活動に力を入れている。馴染みの場所へのドライブ、食事が楽しみとなるよう利用者と共に考える献立、食事の準備等家庭的雰囲気の中で、利用者ができる範囲の役割を持つ事ではりを持ち生活できる取り組みがなされている。
- チームで支えるケアの実践
管理者を中心に、日々変わる利用者の状況を確認し、状態に応じた支援にあたっている。家族の協力も得て、家族も巻き込み、家族と共に職員全員が、利用者一人ひとりの個別性を重視した取り組みがなされ、利用者の安定した生活が守られている事が利用者の穏やかな表情からも窺える。